

本朝軍器考

卷十至卷十二

		和書門	
		二七三九一	
七	九	二	七
冊	函	架	號

庫文閣内		和書	
		二七三九一	
一五三	七	二	七
函	冊	架	號

内閣文庫	
番號	和 27391
冊數	7 (5)
函號	153 444



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



本朝軍器考卷十目錄

鹵楯類

大者步角

凡一條

[Faint, mostly illegible text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

本朝軍器考卷十

呂朝臣大... 伯中臣大高朝臣天神人壽詞ヲ讀
 耳元忌部宿禰色矢知神靈鏡ヲ皇后ニ奉上天皇ノ位
 ニ即世給フナドイフ事モ見エタリ。鐵盾ハ十七代ノ朝廷
 ノ御時百濟王ノ獻リシヲ。盾人宿禰シテ射サシメラレ
 キコレヲハ專ラ戎ノ備トゾ覺ユル。大伴昆羅夫連ガ手ニ
 弓箭皮楯ヲ執テ馬子ノ大臣ヲ守リシトイフハ倭名抄ニ
 見エシ。步楯ノ類ナルベシ。彼抄ニ兼名苑ヲ引テ楯一名ハ
 楯太天トヨム。又釋名ニ狹シテ長キヲ步楯トイフ。步兵ノ
 持トコ口也。天太天トヨム也ト注セリ。サラバ。後世ニ持楯

一イフ物。步楯ノ制ヨシテ。楯楯トイフハ。カキナノバハヤ
 物。近代ニ疊楯ナドイフ物ノ類ニヤ。ヒシギ楯トイフ物ハ
 平説ニ見エ。竹ニテ作レルヲヤイフ。近キ比島銃ノ始レルヨ
 行ヲ束縛テ。楯ノ類トナス物ヲ竹束トイフハ。甲斐ノ里
 ノ家ニテ。作り始メシトゾイフナル。甲陽軍鑑ニ詳ナリ

本朝軍器考卷十終

一月五日

一

懷珠堂

Faint vertical text columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.

今朝軍器考卷十一 目錄

帷幕類

幕

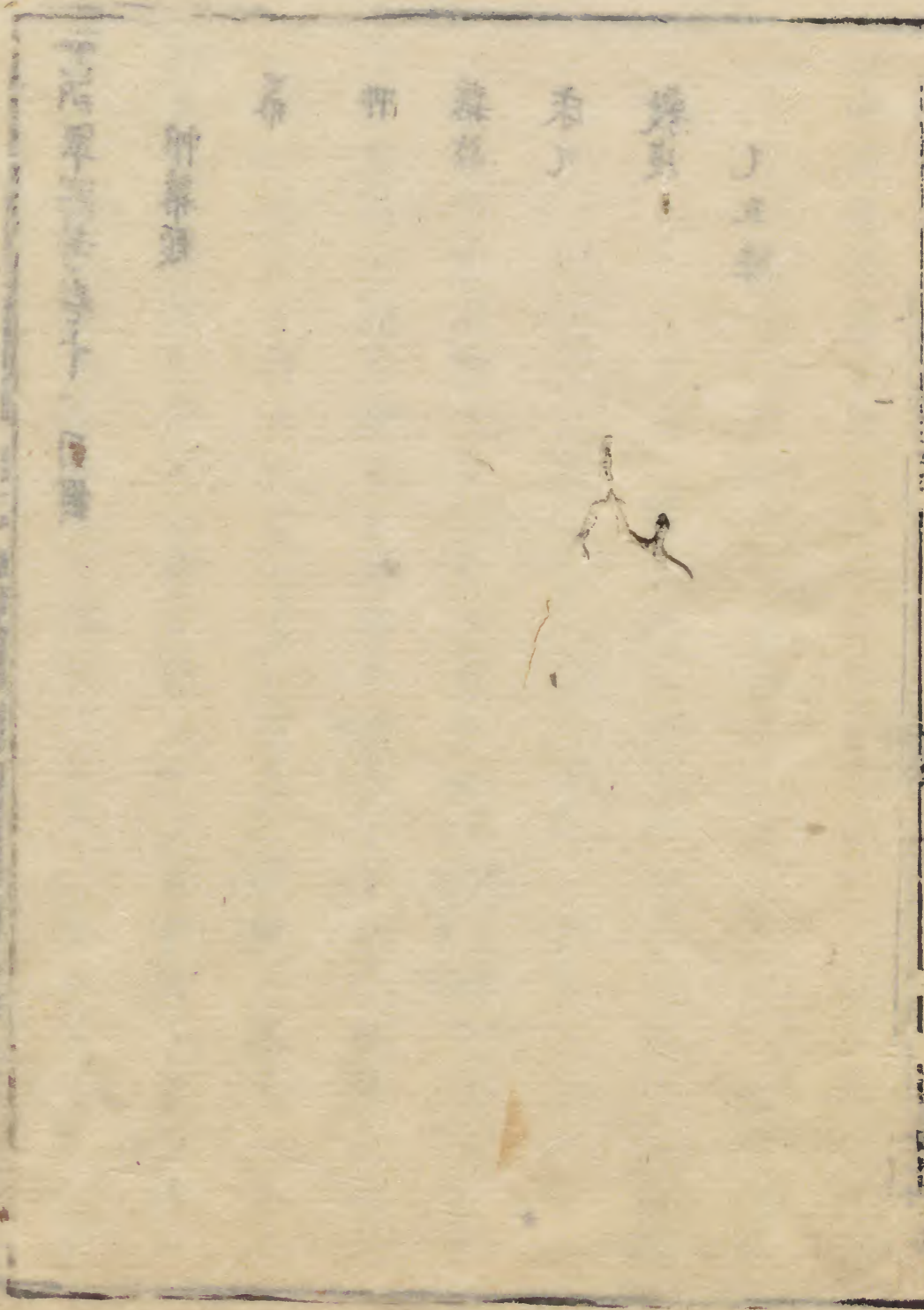
帷

幕紋

床几

敷皮

凡五條



本朝軍器考卷十一

帷幕類

後守從五位下源君美

彙輯

倭名抄ニ屏障具ノ下帷ハ加太比良幕ハ萬玖布ハ比良波
 利幄ハ阿計波利幔ハ本朝式ノ斑幔ヲ引テ萬多良萬久幌
 ハ止波利帳ハ此間音長ト注シタリ此等ノモノ多ケレド
 モ陣營ニ用フル所ハ帷幕ノニツニ過ズ日本書紀ヲ見ル
 ニ并七代ノ朝廷ノ御殿繼體物部連伴跋ノ人ノタメニ襲ハ
 レテ帷幕燒レシトイフ事子レバコレヲモテ陣營ノ具ト
 スルコトコレヨリモ猶前世ノ更ニブアルベキ帷ハ帷裳

オトイフ夏アリテ。其幅ヲ暨サテニ縫フナレバ。令ノ内幕
一イフ物ニテ。幕トイフハ。令外幕トイフ物是也。令ニハ。兵
士每火。緋布幕一口ヲ備フベシト見エタリ。義解ニ。一火ト
ハ兵士十人ヲ
イフヨシ。齊明天皇ノ御時。三韓ヲノク。御調進ラセシテ。飛
見エタリ。鳥ノ岡本ノ宮地ニ緋幕張リテ。ミテハ賜ヒテ事見エタレ
バ。兵士ノ自備フルノミニモアラズ。昔朝廷ニ用ヒ給ヒシ
モ。ソノ物ニテアリケリ。倭名抄ニ唐式ニ衛尉等。六幅幕。八
幅幕トイフ夏アルヲ引タレバ。本朝ニモ。又六幅八幅等ノ
制ヲ用ヒラレシニヤ。右制ハサダカナラズ。飛驒守惟久ガ

後三年ノ戦ノ繪。八幡殿ノ幕ノ紋ニハ。鳩ニツバツムカヒ
シ形ヲ。カキタリ。ウケツタエシ夏モアリケルニヤ。又洛陽
京極ノ北華開院トイフ寺ニ。伊勢三郎義盛ガ物也トテ蝶
ノ紋ツケタル幕アリトイフナリ。其制イカニヤアルラン
タバシ其紋蝶也トイヘバ。義盛ガ物ニハアラテ。伊勢平氏
ノ物ナルヲ。アヤマリ傳ヘタランモ。シルベカラズ。武藏國
熊谷ノ庄ニ。二郎直實ガ幕也トイフ。令モアリ。寓生ニ鳩ニ
ツヲ繪カケル也。コレモ令ハ其全制知ヘカラズ。幕ノ制。體
源抄見エシ所ハ。幕布ノ長サニ丈五尺。乳ノ間。一尺三寸。繩

本朝軍器考卷二十一

二

續珠堂

一色ナラバ乳モ一色ナリ。幕
 串ノ長サ。一丈五寸。サキハ。キリユ。ヒヂハ一尺サケテ打ツ。
 地ニ入ル事。一尺許。一帖ニ六本ト見ユ。又南都興福寺多門
 院ニアル。右京亮大江真忠相野相傳ノ幕ノ圖ニハ。幕ノ
 長サ本ハ三丈六尺也。手ノ長サ七間半也。手三色打モトセ。但
 シ高家ハ白手也。乳モ同シ。乳ノ數二十八。幕紋ハ五ツ。又ハ
 三ツ。七ツモ。裾緋。妻黒。地深。當流ニハコレナシ。幕串。一帖
 九本トシルセリ。コレラ其シルセシ所。同ジカラヌハ。家
 ヲニ相傳フル所異ナル故ナルヘシ。近世ノ制ハ。五幅ノ布

フ。用ヒテ長サハ二丈八尺ナリ。是ハ一匹ノ布ヲ用フルガ故
 也。一對ノ幕通シテ十二幅ノ布ヲ用フベシ。其ニ幅ハ乳。并
 ニ手繩ノ料トス。二幅ノ布ヲ。一幅ゴトニ四ツニサキテ。其
 一ツヲ乳トシ。其三ツヲ白キ黒キ青キ色トナシ。手繩トス。
 乳ノ數廿八ナルハ。天ノ宿ニ象リテ。陽トシ。三十六ナルヲ
 バ。地ノ禽ニ象リテ。陰トス。又梵字カキ。符字繡ニスルノ類
 ハ。其物ヲ神ニセンタメニコソ有ベケレト。皆近世ノ俗ニ
 ヤ。古ニハ聞エズ。幕串ハ。大將十本。軍士八本。其長サ八尺。後
 フハツニモ。六ツニモシテ。上ノ方ヲハ。蜻蜒頭ホウゼンモシハ頭巾キン

頭カシラト云物ニシテ石ツキヲ鉄ニテツハム。頭ヨリ下四寸許
ガホドニ折釘ウツヲウツ。幕ウツ夏モ。晝ハ串ヲ内ニシテ。ウツ
夜ハ外ニス。又三カタミハ。ウツトイヒ敵ニハヒクトイフ。
又オサムルトハ。イフベシ。ハツストハ。イフヘカラス。シホ
ルトハ。イフベシ。アグルトハ。イフベカラスナド。イフ類ハ。
武士ノ家ノ故實ナレバ。心得ベト事也。

内幕トイフ物ハ。十三幅ノ布ヲ用フ。乳付ノ幅ハ横也。豎ニ
十二幅ヲツク。豎ノ幅ノ長サ五尺餘リニモ。又横幅ヲ合テ。
五尺ニモ。六尺ニモスルトイフ。乳ノ數ハ。十六。十八。廿五。又

ハ十七。十五。十二。ナド一定ノ説ナレ。紋ヲツクル夏。横幅ニ
五ツナトイフ也。令ハ縁段ヲモ用フ。又乳付ノ横幅ナキヲ
ハ暖簾幕ナトイフ也。此等ノ外。舟ニハシラカス幕アリ
凡幕ニ紋ツクル事。其始イマダ詳ナラズ。古ノ制ニハ。糾布
ヲ用フト見エタレバ。紋ハアラス。熈囊抄ヲ見ルニ。武士幕
紋ノ字トイフ夏アリ。其比マテハ。カ、ル詞マテモ。猶古ノ
スカタ。ノコリタリケリ。後代ニ至テコソ。旗ノ紋ナト云フ
夏ハアレ。昔ハ兵士私ノ旗幟アル事ヲ得ズ。皆其大將軍ノ
用フル所ニシタガフ。

平治物語ニ。平家ハ赤懸赤幟。源氏ハ
大旗。腰小旗。皆ヲシナベテ。白カリケ

リナド。見エ
レコレナリ。タ、其陣ヲワカタンガタメニ。帷幕ニハ各ワ
ノ紋ヲツク。武士ノ家紋「イフモノ。此更ヨリ始リンカバ。
彼抄ニモ武士幕紋「ハイヒケリ。紋ツケンヤウモ。今ノ様
ニハアラズ。鎌倉殿ノ幕ハ。混白ノヨシ見エタレバ。紋ヲハ
繪カ、レズ。足利殿ノ二引輶「イフハ。三幅白ノ事也「
ルセル物アリ。五幅ノ幕。上中下ノ幅白カラシニハ。ノコル
所ヲノツカラ。二引輶ニテアル也。三引輶。又中黒裾絆「
イフモ。皆此例ニゾアルベキ。ソノ外ノ紋モ「リシ儘ニ幕
ノ中ホドニヲシナラベテ。ツケンヲ。令ノ制ヲミルニ。二引

輶三引輶ノ類モ。輪「イフ物ノウチニツク。ソノ餘多クハ
輪ノウチニツクルニヤ。古ノ家々ノ紋ヲ見ルニ。輪ノウチ
ニツケンハ。多カラヌカ。オヨソノ紋輪ノウチニツクル更
ハ。コトニ近キ俗ナリ。コレラ皆古ノ制ヲシラヌガイタス
所ニゾアルベキ。
床「イフ物ハ。古ノ胡床也。胡床ハ倭名抄ニ。此間ニハ阿
久良「イフヨシ注セリ。高御産巢日神天照大御神天若日
子ヲ。此國ニ下シ給ヒシニ。大國主神ノ女下照比賣ヲ娶テ。
八年マデカヘリマウサバレバ。雉ノ名鳴女「イフヲ下シ

本明書器考卷十一

テ其趣ヲ問シメラレシテ。天若日子射殺シツ。其矢天ノ安
 河ノ河原ニマセシ。天照大御神高木神ノミモトニ及ビシ
 テ。高木神其矢ヲリテ。ツキ返シ給ニ。天若日子胡床ニ寢
 タリシ。高胸坂ニアタリテ死スト。イフコト古事記ニアレ
 バ。此物神代ヨリアリケルニヤ。タハシ風俗通ニ。靈帝胡服
 ヲ好ミ給ヒレホドニ。京ミナ胡床作レリニアレバ。異朝ニ
 ハ。後漢ノ末ニ出来シ物也。又器物叢談「イフ物ニ。胡床ハ
 胡人モシガ偃坐シテ輒レバ。此名ヲ得タリ。隋ノ時ニ識ニ胡トイ
 フ字アル故ニ。改テ交床トイヒシテ。唐代ヨリ。繩床トナツ

クトハ。シルセ。風俗通ノ説ニヨリシ。胡國ヨリ出ヅ叢談
 ノ説ニヨレバ。胡國ヨリハ出子下。偃坐シテ睡ルベキ物ナ
 レバ。胡人ノ俗ニ似タリトテ。カク名ツケシ也。イヅレニモ
 ア。後漢ノ比ニヤ出来ヌラシテ。我國ノ地神ノ代ニ。此物
 アルベシト思ハレズ。サレバ。ニヤ。舊事記日本書紀ニハ。又
 天アマ雅ヤ考コトフシタリヤ。カハリアリテ胡床ニ寢タリシト
 ハ見エヌ。コレハ古事記撰ハレシ時ニ。此物スデニアリシ
 由ガ令見所ニヨリテ。神代ノ事ニ。此文字ヲ誤リ用タル也。
 古人時戰場ニ用ヒシモノ。今世ニアル制ニハアラズトイ

フ人アリ。心得カタシヤ、用明天皇崩シ給ヒシ時帝ノ御弟
 穴徳部皇子ノ三輪君逆ヲ殺サシメテ物部守屋大連ト兵
 將テ其家ヲ圍ミル逆ノ君ノカレテ後宮ニカクレシカ
 バ皇子ハ大連シテソレヲ討シメ、ミツカラハ胡床ニシリ
 ウチカケテ、イ給ヒシトイフ変アリ、コレムカシ戰ノ時
 此物用ヒラレシ證也。モシハ又其形合ノ物ニアラズトイ
 ハバ。梁ノ隻肩吾胡床ノ詩ニ傳名乃外域入用信中原足歌
 形已正文斜體自平トイフ物ハ今ノ制ニアラザランヤハ。
 彼梁ノ代ハ我國ニシテ用明天皇ノ御時ヨリハ猶少シク

サキノ代ニゾアタリ侍リ。
 敷皮鹿ノ夏毛ヲ用フ皮ノ長サ三尺二寸、廣サ二尺五寸。白
 モヲスコシ疎シチキル也。上ノ櫛形又ハ櫛上ナトイフ下
 ヲ白毛トイフ也。何ニテモ裏ヲウツ。上ニ緒ヲツク。戰ノ場
 ニテ胡床ニカクルニモヨノソ子、弓射ル時ニシクニモ各
 其故實アルベシ。

本朝軍器考卷十一終

鞞

當胸

韃頭

馬銜

轡

差繩

腹帶

鐙

本鏡韞逆類卷十二目錄

障泥

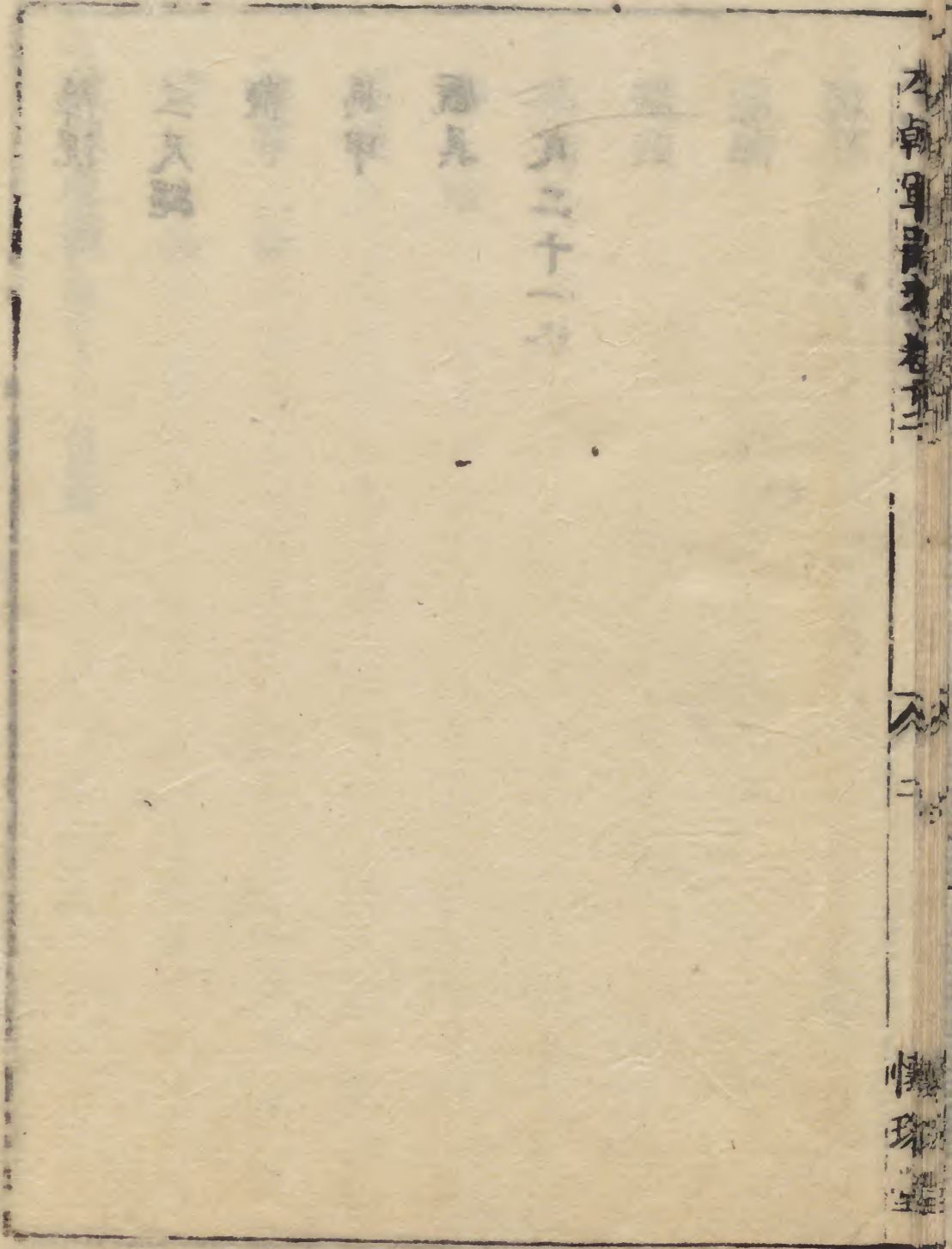
三尺繩

鞭

馬甲

厩具

凡二十一



本朝軍器考卷十二

鞍轡類

筑後守從五位下源君美

彙輯

神代ニ此葦原ノ中國ニ保食神ウチモチトイフアリ。此神月夜ツキヨ見尊ミミコトノタメニ擊殺ウチコロナレシニ其頂ウチカミヨリ牛馬ウシウマハ化出ウチイテシ由舊事

本紀日本書紀等ニ見エタリシカルヲ馬ハ百濟國ヨリ来レル所也。保食神ノ化レル所ナリトハ心得ガタシト云説アレト。百濟ヨリ来レル由ハ異説也トフ。私記ニハ見エタ

ル。萬葉集抄ニモ昔百濟國ヨリ馬ヲ此國エタテマツリタリケルニイクハクモナカリケレバイミジクカタモノニシテ馬トハ其時ニハイバウミノモノトゾ云ヒケルヲレテ秦氏ノ先祖コレヲヨク棄レリケリサテ帝コレヲ

イニシキモノニセサセ給ヒテ。ウマトイハント云事。定マ
 リ。ハシメテ。イノマ山ト云山ニハナキテ。飼レメ給ヒリ。
 其オリ。帝ノヲボエ有ケル人。其馬ハ給ハリ。乗テアリキ
 テル。サレバ此馬ニ乗タル人ヲハ。イニシクヤンゴトナキ
 ナド見エタリ。又素戔嗚尊刺串伏馬タマヒ。天ノ班駒ヲ
 ニシ給ヒシナト云テ。モ見エタレド。牛ヲ服ヒ。馬ニ乗ルト
 イフ事ノ始ハ。サダカナラズ。日子遲神出雲國ヨリノボリ。
 倭國ニマサノトテ。ヨソヒタテル時。片御手ハ御馬ノ鞍ニ
 カケ。片御足ハ。其御鐙ニフミイレテ。歌作ラレシ。夏古事記
 ニ見エタレハ。地神ノ時。鞍鐙ナドノ物ハ既ニアリケリ。
 筑後筑前ハモト一國タリシニ。昔時此兩國ノ間ノ山ニサ

ガレクセバキ坂アリテ。性来ノ人ノ駕ル所ノ鞍韉摩盡サ
 レ。故ニ土人鞍韉盡ノ坂トイヒシヨリ。此國ヲ筑紫州ト
 ハ名ツケレヨシ。其國ノ風土記ニハ見エタリ。筑後風筑紫
 州トイフハ。伊弉諾伊弉冉ニ柱神。此大八洲ヲ三給ヒシ時
 ヨリノ名ナレバ。天神ノ時ニ。既ニ馬ニ乗ル事ハアリシニ
 ヤ。タビシニ柱ノ神。大八洲ヲ三給ヒシ始。筑紫州ナトイ
 フ名ハ。アラザリケルヲ。牛馬化出テ。コレヲ服ヒコレニ乗
 ル事始レル後ニ。カク名ツケラレタリケンモレラズ。人代
 トナリテ後。三十九代ノ朝廷。天下シロシメス。七年。天智。近江

國ニシテ。武ヲ講_シ給_ヒ。又多ク牧_ヲカレテ。馬_ヲ放_サレシト見エシハ。我朝ニテ牧置_レシ始ニヤ。其後ノ令ニ載_ラレシ所_ノ厩_ノ牧_ノ條ニ詳ナリ。又格ニハ。王臣ノ馬ノ數限_{アリ}テ。若_シレ_テ過_ル外ハ。馬_ヲ畜_フ事_ヲ聽_サレズ。四十代ノ朝廷_{武十三}年ノ詔_ニハ。文武官諸人_ヲ務_テ兵_ヲ用_ヒ。馬_ニ乘_ル克_ク習_ヘ。馬_アラムモノ_ヲ騎_士トシ。ナカラシモノ_ヲ歩_卒トシテ。馬_兵ニ便_ナラザランモノ_ヲハ。罰_セラルヘシト_見エタリ。又三十四代ノ朝廷ノ御時_推新羅_任那ノ國_々ヨリ。貢_使進_ラセシニ。額_田部_連比羅_夫シテ。新羅ノ使_迎フル_莊馬_ノ

長_トナシ。膳_臣大_伴シテ。任_那ノ使_迎フル_莊馬_ノ長_トナサ

レテ。阿_斗河_邊ノ館_ニ安_置レ給_ヒ。トイフ事_{アリ}古_ニ聞

エシ飾_馬ノ具_其比_ノ制_ニヤ_{アル}ラム。凡_ハ古_ノ飾_馬ノ具_。

異_朝ノ制_ト見_エシ物_トモ_{アリ}テ。令_ハサ_ダカナ_ラヌ_又変_ト

モ_多カ_リ。古_ノ馬_ノ飾_。菖_蒲形_。銀_面雲_珠頸_總。八_子尾_囊。ナド

エケ_リ。又_倭名_抄ニ見_エシ所_モアル也。蔡_邕獨_斷。金_錢ハ。

馬_冠也。高_サ廣_サ各_五寸_上三_華ノ形_ノゴ_トキ_モ也_トイ

フ_又引_テ。令_按ス_ルニ。俗_ニイ_フ。銀_面ノ菖_蒲形_ニ也_ト

グ。注_シタル。菖_蒲形_トイ_フ物_ハ金_銅ニ_テ菖_蒲葉_ノ形_ノ物_。

三_。銀_面ニ_タツ也。天_仁ノ記_ニ。殿_下騎_馬ニ_給フ_ノ間_御額_菖蒲_形ニ_ツキ_アタ_リ給_フ。人_々危_シ。稱_ジキ_ヨシ_見エ_タリ。樓_額倭_名抄_ニ。沿_賀カ_既ト_イフ。銀_面ノ類_ニヤ。又_異物_ニヤ。馬_ノ額_ニアル_ベキ_物也。尾_囊ヲ_ハ尾_鞆ニ_作リ。又_考聲_切韻

ヲ引テ紛ハ。モテ尾ヲツム所也。此物唐コレヨリサキ三尾ニ結ブ時、用フル具タルヨシ注セリ。

十代ノ三カド欽明天皇記ニ、皇后御鞍トイフ事見エタレ

バ、其代ニハ皇后ニモ御馬ノアリシニゾコレヨリ後代ニ

至テハ、其人ノ品位ニヨリテ、鞍鞞鞞ノ類、コトクク皆定

ニレル式アリトソ見エタル。公卿以下、五位以上、黒地鞍。或

邊衛次將、平文、移鞍ヲ用フ。或ハ貝ヲ指リ、玉ノ

入、或ハ薄丈ヲ押ナトイフ類、スナハチコレ也。

倭名抄ニ鞍ノ下ニ、俗ニ唐鞍、移鞍、結鞍等ノ名アリト見ユ。

飾抄ニハ、結鞍トイフ物ハ見エズ、倭鞍水干鞍トイフ物

見タリ。倭鞍ニモ、水精地、銀地、鏡地、黃地、龜甲地、蒔繪、鉢鞍等

ノモノ。聞タリ。スベテコレヲノ物。今ハコトクク詳ナラヌ

事ニヤ。其中唐鞍ノ具ハ、飾抄ニ圖セラレシ所モ、盡クニ備

ンリトモ見エズ。年中行事ノ繪ニ、飾馬ヲ繪カキシヲ見テ、

ヤ、其物ヲ想見ツベケレド、猶サタカナラヌ変化アリ。後

ニ春日社ニ詣テシニ、神殿ノ繪馬ニ繪カキシ所ヲ見テ、年

比ノ疑ヒトケヌル事共アリ。今モ山科ノ神寶ノ中ニ、其物

アリナド云人アリシカド、正シキ物ヲ見ルニ及バズ。南都

正倉院ニアル物也トテ、其圖ヲバ、見タリキ、龜山院御繪合

ノ時ノ賀茂祭ノ繪ニ、唐尾ニ結ビシ馬ニ、楚鞞ニ杏葉付タ

ノ時ノ賀茂祭ノ繪ニ、唐尾ニ結ビシ馬ニ、楚鞞ニ杏葉付タ

ルアリ。是ハ和鞍ヤトクラニ唐鞍カラクラヲ用ヒシナド云フ物ニヤ。又飾
抄ノ唐鞍ノ下ニ。昔德大寺ノ唐鞍ヲコフテ。コレヲウツス
トイフ事アレバ。移鞍ウツクトイフモノハ。唐鞍ヲ模作ウツクレルヲイ
ヒシニヤ。唐鞍ハ其橋ハシハ。黒地。螺鈿玉ヲ入ルナド見エテ。平
丈移ニ。或ハ貝ヲ摺リ。玉ヲ入レ。或ハ銀ヲ入。或ハ薄文ヲ押
ナド。云事ハ見エタリ。又古ノ時。武士ノ用ヒシ物ニモ。鏡鞍
黒鞍ナドイフ物ノ見エタルハ。鏡地。黒地ナトイヒシ倭鞍
ニヤアリケン。其外黃伏輪。白伏輪。沃懸地。梨子地。貝鞍。白橋
張鞍。又金貝鞍ナド云モ。フルキ物トモニシルセシ多シ。

世ニ作カクノ鞍ナドイフ物出来シ事ハ。足利殿ノ代ノ始。大坪
入道道禪トイフ者アリ。雙ナキ馬ノ上。手ニテ鞍鐙作ル事
モ巧タカナリケリ。伊勢伊勢守平負繼馬乘ル事モ鞍鐙作ル事
モ。彼入道ニ受傳ウケツヘタリ。此負繼トイフハ。尊氏將軍ノ親父
讚岐守殿人烏帽子子也シカバ。將軍ニシタレウ思ハレテ。
ソレカ子孫。代々足利殿ノ政所ニシ。サアラヒケル。負繼ガ
子孫。其工タカヲ傳ヘテ作レル所ヲ。カクハ名ヅケシ由。世ニハ
イヒ傳ヘタリ。伊勢ノ系圖ニハ。負繼ガ孫。伊勢守貞行ガ三
男因幡守貞長鞍作ル工タカヲ。祖父伊勢守貞信タカニ傳ヘ

本朝軍器考卷之三

鞍

ヨリ、負長ガ家、鞍佐ル工ノ正派也。下載タリ。又世ニ作ノ家
 卜稱スル所、三十一代人譜ヲ見タリシニ、大坪入道ヨリ、畠
 山中書ニツタヘ、畠山又伊勢加賀守ニツタヘテ、因幡入道
 ニ至リシ由シルセリ。伊勢家ノ系圖ニモ、伊勢守負繼鞍作
 ル工ヲ傳ヘシトイフ莫ハ、見エタレド、負繼加賀守タリシ
 事ハ見エズ。オモフニ加賀守トイフハ、スナハチ負繼ガ子
 ニテ、負長ガ祖父ナル。負信ガ支_ヤ、新編系圖ニハ、負信ハ、
 負長カ父ナル由見ユタリ。父ノ負繼世ニ在_リホトハ加賀守タリケンモ、シラズ、彼
 系圖ニヨリテ、見ル時ハ、伊勢ノ家ニテ、鞍作レル事、伊勢守

負繼ニ始リ。其子伊勢守負信是ヲ傳エテ、因幡守負長ニ至
 リ、負長ガ子孫代々ニコレヲ傳ヘシ也。其後負信五代ノ嫡
 流、伊勢守負宗ガ時、負宗ハ、スナハチ金
 仙寺トイフ人ナリ又其工ヲウケ傳ヘ
 テ、其子負陸ガ子負忠等代々ニ其事ヲ傳ヘシ也。此等ノ人
 作レル鞍、モツハラ世ニ行ハレシヨリ、古ノ制ハコトク
 ニ廢レテ、今ハ又異形ノ物トモ出来ヌレド、ウミナシ、布袋、
 鞆、高麗、ナド
イフ古ノゴトク高キ卑キガ品ニヨリテ用フベク、用ヒマ
類也シキ定マリシ制アリトハ、見エズ。
 倭名抄ニ揚氏漢語抄ヲ引テ、鞍橋シマヤ一ニ鞍瓦シタトイフヨレ、注

本朝軍譜卷十二

五

伊勢守

セリ。サレド日本書紀ニハ。鞍前後橋トモ。紀ニ又ハ鞍瓦後
 橋トモ。欽明紀ニ見エタレバ。楊氏が説ハ誤レルニヤ。鞍橋トイ
 フハ。今イフ前後ノ輪ニテ鞍瓦トイフハ。居木トモ。由木ト
 モ。イフ物ト見エタリ。又今ハ前輪ヲ麻惠和トイヒ。後輪ヲ。
 阿止和トイフ。ムカシハ。麻惠都和之都和トヅイヒケル。但
 シ。日本書紀ニ見エシ。鞍橋君ヲバ。矩羅膩ト讀コシ注シテ。
 鞍瓦後橋ヲバ。久良保祢乃之都久良保祢ト讀タリ。又四方
 出トイフモノ。倭名抄ニ鞍トイフ字ヲ。之保天トヨミテ。考
 聲切韻ノ鞍ハ。鞍橋ヲ穿ツ皮也トイフ注ヲ引タリ。鞍ノ穿

ツ所ナラシニハ。鞍橋トイフハ。前輪後輪トイフ物ニテ。鞍
 橋一ツニ鞍瓦トイフ説ハ。アヤマレル。支疑ベカラズ。又同
 抄ニ。鞆ノ字ヲ出シテ唐韻ニイハク鞆ハ。鞍鞆也。楊氏漢語
 抄ニ。賀礼比都氣トイフ由ヲ注ス。此説ニヨランニハ。鞍トイ
 鞆トハ別ナル物ニテアル也。此説モ又誤レルニヤ。鞍トイ
 フ字ハ鞆ノ字ノ俗書ニテ。鞆ハ。鞍邊ノ帶也ト韻書ニハ見
 エタリ。サレバ鞍鞆モト同字ニテ。タゞ正俗ノニツアルノ
 ミナリ。加礼比都氣トイフ事ハ。今モ四方出ノ後ノカサノ
 左ヲ捕付トイヒ。右ヲ物付トイフ名アル。其支ニテアル

ナリ。之保天トイフ事ハ。鞍ノ海トイフ所ノホトリヨリ出
 レバ。カク名ツケシナト。世ニイフナルモ。又アヤミレルヤ。
 三議一タ。鞍橋ノ四方ニ出シ帯ナレバ。カクイヒシ也。フ
 統ニ
 ルキ物ニハ四方出トコソシルシタレ。源平盛。但シ昔ノ四
 方出ノ形ハ。今ノ如クニハアラス。譬へハ圓カニ少シキナ
 ル鏡ノ如クナル金物ヲ。黄ニモ。白クモ装リテ。其裏ノ方鼻
 ヨリ。草ヲ貫キテ。鞆ヲモ穿テ。其草ノ餘リ二條ヲ垂ル古キ
 繪ニ見エシ物トモコトク皆此制也。又鞍ニ手形トイフ
 物ツクル事ハ。平治ノ戦ニ鎌田兵衛政清與三左衛門尉景

安トクムテ首ヲトル。比ハ平二月廿七日巳ノ時バカリ。一
 村兩ツリテ。風ハゲシク吹タレハ。鎌田ガ鞍ノ前ツ輪ニツ
 ラ。井テ。乗ソツラヒシテ。惡源太義平見給ヒテ。手形ヲツ
 ケテ。ソレヤトノ給ヒシカバ。打物ヌイテ。ツブズト。手形切
 テ。乘タリヨリ始レルヨシ。平治物語ニ見エタリ。今モ世
 ニ鎌田少リヤトイフナリ。三ノ。以。上。自。然。村。田。正。正。正
 韉。倭名抄ニ。之。太。久。良。又。鞆。ハ。韉。ノ。短。キ。也。俗。ニ。イ。フ。駒。韉。軟
 叶注セ。今イフ切村トイフ物是也。駒韉トイフハ。韉ノ小
 シキナルカ故三駒ニ駕スベキ料也トイフ義ニヤ。又高麗

表敷錦。又錦心上敷アリ。縁ハ錦ヲ用上。全文堅食ヲ付シキ
。注^ル。後成恩寺殿御説ニ赤地錦表敷トテ^ル物見^ル。以
^{桃花}。合^葉馬^糞。不^レ功^ル也。ト。イ^フ。入^レ。甲^レ。封^ル。馬^糞
。ナ^ク。イ^ハ。物^ハ。入^レ。遠^カ。ラ^ズ。又^ハ。物^ハ。キ^ヤ。世^ニ。高麗馬糞ナ^リ。イ^ハ。物
。ハ^ハ。彼國ノ鞞^ヲ。鞞^{タル}。モ^レ。ル^ベ。カ^ラ。ズ。又^ハ。麋^ノ。亦^ハ。取^ル。ト^テ。イ^ハ。物
。事^ハ。其皮ヲ鞞^ノ。料^ト。ス^ル。故也。亦^ハ。イ^ハ。鞞^ト。カ^ク。ベ^シ
。ト^テ。イ^ハ。人^ノ。不^レ。知^ル。モ^レ。此^ノ。説^ニ。コ^ト。オ^ラ。シ^ニ。ハ。古^ノ。俗^ニ。鞞^ハ。成
。ヲ^テ。用^テ。鞞^ト。鞞^ト。ヤ^セ。ル。イ^ハ。ダ^正。シ^キ。證^ヲ。バ。見^ズ。但^シ。鹿^ヲ
。俗^ニ。志^ス。ハ。味^ヲ。不^レ。夏^ハ。宗^ト。イ^ハ。フ^義。ナ^レ。バ。麋^ノ。亦^ハ。久^ク。イ^ハ

本朝軍器考卷之十一
九

フモ。亦宗ノ義ナリケンモレラズ。
鞍^ハ。倭名抄ニ久良於保比トヨメリ。今ハ鞞^ハ。鞞^ナ。ト^カ。ソ^ニ
。ヤ^式。延^喜。大臣已上鞞ヲ覆フモノ淡紫ヲ用ヒヨ冬^ニ。義^以。工^ハ。
。深^緋。諸^王。五位以上^ニ。緑^色。諸^臣。黄^色。六^位。以下^ニ。用^フ。ル^事。ヲ^得
。サ^レ。ト^見。エ^タ。リ。又^ハ。薄^物。ノ^繡。アル^ヲ。モ。用^ヒ。ラ^レ。レ^コ。ト^ア
。天^永。三^年。春^日。詣^ニ。中^納。言^中。將^崩。木^淨。線^綾。ノ^鞞。覆^{タル}
。後^成。恩^寺。殿^ノ。御^説。ニ^ハ。見^エ。タ^リ。武^家。ノ^代。ト^ナ。リ^テ。
。足^利。殿^ノ。時^ニ。御^引。馬^ノ。鞞^ハ。豹^大。名^ハ。毛^糞。ヨ^ソ。ツ^子。ノ
。人^ハ。鹿^皮。ノ^夏。毛^秋。毛^モ。ニ^ハ。春^毛。ヲ^用。フ。熊^皮。ヲ^ハ。用^フ。ハ

林用器考卷之十一
九

カラス。是ハ乘輿人物也。虎皮。又公家ニ用ヒラルハ。此ハ
 此也。物アリ。大諸熊皮ハ乘輿人物也。トイフ。夏イカナル
 據ア。ル。ヤ。イ。夕。所。見。ア。ラ。ズ。又。赤。牛。毛。檀。ヲ。用。ヒ。フ。ル。
 夏ハ。公。方。下。御。物。ノ。外。ハ。宗。族。ノ。大名。ハ。カ。ケ。ラ。ル。々。十。ハ。色
 カ。ハ。リ。ス。ル。ヲ。モ。昔。入。ハ。憚。レ。ニ。今。ハ。御。ユ。ル。シ。蒙。リ。テ。誰。々
 毛。カ。ケ。ラ。ル。夏。不。覺。ナ。ル。ス。レ。ヤ。ト。金。仙。寺。ハ。イ。ヒ。ケ。リ。金
寺ハ伊勢伊勢又鎌倉殿ノ鞍履ハ段子金襴ヲ用ヒラレ。管領
勢ウ貞宗也
 境。羅。綿。毛。檀。奉。公。ノ。人。々。ハ。播。磨。皮。又。張。鞍。ニ。鞍。履。カ。ケ。引
 夏。ナ。レ。ト。イ。フ。事。モ。ア。リ。鎌倉年中行事

鞆倭名抄ニ之利加岐トヨメリ。今ハ之利加以トイフナリ。
 昔ハ六位以下ノ鞍ノ鞆總ノ連着懸ル事ヲ得ス。但鞆ノ衢
 及後末ニ着ル夏ヲバユルサル。延喜式又紫籠頭鞍靶緋鞆等。
 皆コレヲ禁ズ。纏鞆ハ制ノ限ニアラズ。參議以上檢非違使
 別當已下。府生以上ハ。緋鞆ヲ着ル事ヲユルヌナリ。イフ夏
 アリ。拾芥抄又古ノ鞆ハチイサク總モナレ。近代ノ鞆ハ。甚大
 キクシテ。總長シト。飾抄ニハ見ユ。檀末濃。同村濃楚鞆。抄又
 連着小總。過總。紫末濃。小畝連着ナリ。桃花葉イフ物アリ。其中
 ニ楚鞆トイフ物ハ。延文ノ比。既ニサタカナラサリシニヤ。

アル人楚鞞トハ。畝太。連着トハ平畝ニヤト問申セシニ。楚
鞞ノ體只尋常ノ鞞ノ外。アサガチニ所見アラストコソ。中
園相國ハ各給ヒケレ園大曆飾拙ニ仁安二年。齋宮野ノ宮ニ
入給フ時五位已上。和鞍楚鞞杏葉付シト。イフ夏アリテ。又
杏葉ツケシ。鞞ノ圖ニ赤滑。或ハ朱漆。廣サ一寸四分兩方長
サ四尺三寸ナドレハサレタレバ楚鞞トイフ物ハ。赤滑。モ
レハ朱漆ノ草ニテ。作レルヲヤイフ。古ノ武士ノ乗レル馬
ノ鞞ノ。大總厚總ナトイヒシハ。連着トイフ物ノ類ニヤ。其
外大形鞞トイフ物アリ。コレハ畝太ナトイヒシ物ニヤ。又

漆鞞ノ文アルヲイヒシニヤ。宗尊親王ノ御時ニ鎌倉ニテ
内記兵庫允漆鞞ノ故實ヲ注進ス。彼家代々上總國ニオ井
テ此コトヲ奉行スト。東鑑ニ見エタレバ。世ニイフ上總鞞
ハ。漆鞞ノ夏ニゾアルヘキ。足利殿ノ比迄ハ紫鞞ハヨノツ
子ノ人用フル事アタハズ。大諸又法體ノ人ハ。緝鞞ヲ用フ
ベシナド。イフ夏モ見エタリ。鎌倉年中行事今ハカ、レル制アリ
トモ見エズ。今世ニ用フル所ハ。後末ニノミ總アレド其色
多クハ紫也。此制古ニハ。イカニイヒシ物ニヤ。イマタ詳ナ
ラズ又世ニ異國ノ毛織ヤウノ物ヲモテツクレルニ。金襴

ノ裏打タルナド見エヌルハ猶此比ニ出来シ物ナリ。
當胸倭名抄ニ楊氏漢語抄ヲ引テ。班胸ハ無奈加岐ト見エ
タレバ。班胸トモカクヘキ也。飾抄ニハ胸懸トシルサレ今
胸懸トカキテ。無奈加伊トイフ也。古ノ飾馬ハ鞞ニモ當胸
ニモ杏葉トイヘル物ヲツク。杏葉ハ倭名抄ニ辨色立成引
伊俣良トヨム。俗ニ行衣布トイフ由注セリ。此物杏樹ノ葉
ノ形ニ似タレバ。カクハナツケレニヤ。飾抄ニ伏輪ハ黃ニ
鏡ハ白シナド見エタリ。凡胸ニ五ツ有ヘシ。鞞ニハカクカ
タニ五ツ、ツ両方ニナツクル也。其外。鞞ニモ當胸ニモ方

金物トイフ物ヲウツ也。

鞞頭倭名抄ニ唐韻ノ鞞ハ鞞頭也。鞞ハ馬絡頭也トイフヲ
引テ。漢語抄ニ鞞頭ハ於毛都良トイフ。今按スルニ絡頭ス
ナハ子鞞頭也ト注セリ。飾抄ニハ面懸トシルセリ。今ハ於
毛加伊トイフ。又面懸胸懸。尻懸ヲ。佐牟加伊ナドモイフ也。
式ニハ式延喜紫ノ籠頭ヲバ。六位已下ニハ禁セラレハ由見
ユ。飾抄ニ見エシトコロ。其制胸懸鞞ニ同シクシテ。タバ面
懸ニハ杏葉ヲツケズ。今世ニ用ユル制。此物ニ大小ノ總四
ツアル也。

説文ニ鑣ハ馬銜也。久都波美トヨム。俗ニ久々美トイフ。マ
夕兼名苑ニ。鑣一名ハ勒野王按スルニ。勒ハ馬ノ口中ノ鉄
也。倭名抄ニハ見エタリ。顧野王ノイヘル所ハ。説文ニ銜
アルヲ勒トイフ説アルニヨレルナルベシ。サレド馬ノ口
中ノ鉄ヲ勒トイフニハアラズ。銜アリテ馬頭ニマトフ物
ヲ。勒トイフ也。又釋名ニヨル時ハ。説文ノ説モ。夕々其大
體ヲイヘルモノニテ。詳ナルニハアラズ。釋名ニ。鑣ハ。包也。
旁ニアリテ。其口ヲ包斂ム爾雅ニコレヲ鑣トイフ。一ニ扇
汗トナツケ。一ニ排沫トナツクト見エケリ。サラハ鑣トイ

フハ。久都和乃加々美。銜トイフハ。久都和乃波美トイフ。スベ
テコレヲ勒トイフ也。又倭名抄ニ見エシ。羨藜銜宇波良
久都和トイフモノハ。飾抄ニ見エシ物ニテ。袍ノ紋ノ轡唐
草トイフ物ハ。其形ニテアル也。又倭名抄ニ辨色立成ヲ
引テ。煎鞞ハ。美豆岐俗ニ三都々伎トイヒ。一ツニ七寸トイ
フト注セリ。コレハ令世ニ引手蛇口トイフ所ナリ。古事
談ニ源義家朝臣ソノ親父ノ夕メニ。門ノ鑰ヲ取り收メラ
レテ。轡ノミツハキニテ。シヤウアケサセラレシト云フ。即
此也。世ニ手綱ノ兩末ヲ。三都々伎ト云フハ。イカバアルベ

本朝通記卷第十一
鑣

キ。或入ノ説ニ車鞵トハ。今ノ世ニ手助タテマ。又ハ立聞タチキト云フ物也。其組ノ長サ七寸許アレバ。又七寸トモ云ヒシ也ト云フ。サレド古キ繪ニ繪カキシ物ト見ルニ。皆々オモツラフ。世ニ面懸オモカイ付ト云フ輪ニ絡ヒヒテ。其末ヲ垂スタルナリ。手助タテマ立聞タチキト用ヒシ度ハ見エズ。又世ニ面懸付トモ云ヒ。又ハ總ノ輪立聞タチキノ輪ト云フ所ヲ見ルニ。三都々ツ彼ノ蛇口ヘビト云フ所ヨリハ甚大キナル也。昔ハオモツラヲ引絡ヒヒレ事疑フベカラズ。足利殿ノ比。鞍轡ノ具ノ名トモシルセシ物ニモ。手助立聞ト云フ物ハ見エズ。三議一統下學集節用集等ニモ見エズ

此物。イツレノ比ヨリ出来レト云事詳ナラズ。

轡ハ倭名抄ニ。兼名苑ヲ引テ。轡一名ハ鞞クワ。又豆和都良トヨム。俗ハ久都和クツトイフ也。又揚氏漢語抄ニハ。韁キヤウ鞵クワナリ。一ツニ馬鞵クワトイフ也。ト注セリ。揚氏ガ韁トイヒシハ。アシカラズ。其餘説ハ。悉誤レル也。鞞クワハ。久都和クツ乃加々美カバミニテ。鞵クワハ。於毛都良モツラニテコソアレ。轡ヒハ。増韻ニハ馬韁キヤウナリトイヒ。禮記注疏ニハ。馬ヲ御ギョスル索也ト見エタリ。毛詩ニハ。六轡リク在手トイフ変アリ。ソレハ古制ニ。車ニハ四ノ馬ヲ駕ス。車ノ轡ヒヲサシハサム。ニツノ馬ヲバ。兩服トイヒ。服馬ノ左右ノ外

ニアル。ニツヲバ。驂馬ウシバトイフ。凡一ツノ馬ニ。左右轡二條ツ
ハアレバ四馬ニハ。ハツノ轡アリ。其左右ノ驂馬ノ内ノカ
タノ轡ウシバヲバ。車ノ軾ウシバニツナクガ故ニノコル所ハ。六轡ナリ。
ワレヲ執リテ。四馬ヲ御スルナレバ。カクイヒレ也。或ハ轡。
或ハ鞅ナランニハ。イカテ。手ニハ在ヘキ。又絲ヲ以テスル
ヲ轡トイヒ。草ヲ以テスルヲ。儻ウシバトイフ。トモ見エタリ。サラ
バ轡トイフ物ハ。我朝ノ手綱ウシバトイフ物ニツアル。韁ハ。轡ノ
別名也。トモ注シタレバ。正字。揚氏が韁トイヒシハ。アシカ
ラス。又按ズルニ倭名抄ニ手綱トイフ物見エズシテ。鑣ノ

字ノ外ニ。此轡ノ字ヲワカチ出シタルハ。オモフニ順ノ比
ニ久都ウシバ和都ウシバ良ウシバトイヒシハ。今イフ手綱ナルヘシ。又順ノ比
モ俗ニハ轡トイフ字ヲ。鑣ノ事ニモ用フレバ。俗ニハ久都
和ウシバトイフヨシヲバ。注シタルナリ。彼是通ジ考ルニ倭名
抄ノ説。悉誤レルニモアラス。タバ引用フル書ニ見エシ。一
名ハ。轡一ツハ馬鞅也。ナトイフ。又ケヅリステ。又ガ誤レ
ル也。古ノ手綱ハ。蘇芳ウシバ綫ウシバ紫ウシバ綫ウシバ棟ウシバ綫ウシバナトイフアリ。桃花ウシバ 又大
和鞍ニ公卿ハ蘇芳綫。四位已下。棟綫。移鞍ニハ。蘇方。平緒。伏
組アリナトモ見エタレバ。飾移鞍ハ。唐ノ制ニヨリテ。伏組

アル平緒ヲ用ヒラレシニヤ。絲ヲ以テスルヲ轡トイフ説
ニゾ。アヒタル。武士ノ用ヒシ所。サダカナラズ。大ヤウハ。布
ヲヤ用ヒヌラン。筋手綱スシタツナナドイフ物ハ令用フル物ノゴト
ク深タル布帛ノ類ニヤ。大將出陣ノ時ハ。カツ色ノ手綱ヲ
用フ。勝色トハ。黒色ヲイフ也。ナドシルセリ。又鎌手綱ハカテタツナトイ
フ物ハ。専ラ戰ノ時ニ用ヒシ物ナリ。
差繩サシヅナトイフ物。約アヤクシノ字ヲヤ用フベキ。禮記ニ見エシ。羈カヒ約アヤクシノ
注ニハ。羈カヒハ。以テ馬ヲ絡カケフ。約アヤクシハ。以テ馬ヲ援タシクト見エタリ。
種々綾タテ。村濃ムラノ。或打交ウチマキアリ。搗綾。蘇芳綾。紫村濃。藤青打交。菊白
打交。萌木白。打交。ナドイフアリ。

差繩ハ御襖ノ時用ヒラル。事ニヤ。又公卿ハ差繩。四位已
下片繩トイフ。夏ナツアリ。飾イカナルヲヤ。片繩トハイヒケハ
武士ノ引馬ヒキウマヒクニ。引手ヒキテハ。上輩追綱ハ下輩ト。イフ事ハ
ノ引ヒキヤウニ。追綱トイフ。夏ナツアル也。シカルニ。令ハヨノツ子
ニ。馬ヒク綱ヲ追繩オモチトイヒ。其外ニ小口繩コグチヅナトイフモノヲ。又
差繩トイフハ。近キ比ヨリノ名ナルベシ。小口繩ヲ小中間。手綱
腹帶ハラビ倭名抄ニ。唐韻ノ纏ツタハ馬ノ腹帶也トイフヲ引テ。波良ハハラ
於比オホヒトヨメリ。其後ノ俗オホヒニ。波流比ハハラヒトハイフ。又由木ユキ擲ナゲト
云フニヤ。古キ繪ニ見エシ所。古ノ腹帶制ニハ。少シク異也。

本朝書目録

卷二

服

鐘古事記ヲ見ルニ。鞞鐘クワアツミトイフ物ハ。大國主神ノ代ヨリ見
 エシ也。倭名抄ニ。蔣鮪ガ切韻ノ鐘ハ。鞍ノ兩邊脚ヲ承ル具
 也トイフ説ヲ引テ。阿布美トヨミタリ。古ノ鐘ニ壺鐘。舌長
 半舌シツダナドイフアリ。飾抄ニハ。舌長ノ圖ヲ繪カキテ。古ノ唐
 鞍等多クハ。舌ナクシテ大輪バカリ也。シカルニ近代踏ヨ
 キカタメ作ル所歟。トシルサレタリ。法隆寺ニ上宮太子ノ
 鐘アリ。鉄ニテ作レルニ。金銅ノ致具カクコアリ。年中行事ノ繪ニ。
 此物見エタリキ。是壺鐘ナド云ツヘキ物ナリ。其形。タリハ。杏ノ類ヨ
 リサキバカリナルヲ上ノ古ノ唐鞍ノ鐘ニ。舌ナクシテ。大
 方ニ。致具ヲ屬ケレ物ナリ。

輪バカリアリシハ。是モト夕唐鐘カクアツミニコソ有ベケレ。今モ高
 麗鐘ナド云ヒテ。世ニアル物。スナハチ。此制也。正倉院ニア
 ル唐鞍ト云フ物ノ鐘ハ。法隆寺ノ物ノ如クニシテ。舌アル
 コト。半舌ナド云フ物ノ如シ。今世ニ用ル所ノ物ハ。壺鐘ニ
 モアラズ。又舌長半舌ノ制ニモアラズ。古ニハイカニ云ヒ
 シニヤ。フルキ繪共ヲ見ルニ。飾馬ノ外ハ。皆々此制ヲ用ヒ
 ザルハナシ。武藏鐘ト云シ物ハ。木鐘ニテ。今ノ世ニ五六ナ
 ド云フ物其遺制也トハ云ナリ。佐々木三郎盛綱カ藤戸渡
 セシ時ノ物也トイフ物。其カタク。今モ世ニアリ。ソレモ今

ノ世ニ用ユル所ノ如クナル。木鐙ノ黒塗タル也。西南諸蕃
ノ鐙ハ、木ヲ刻メカキタル状カタ小籠コカゴノゴトクニテ。足指アシササヲ其中ニカ
クス。榛棘シシキニ入テモ、足ヲ傷ラザラシタメ也。トイフ事、異朝
ノ書ニモ見エタリ。范成大桂海虞衡志ニ足利殿ノ比ニ伊勢ノ家ニ
テ。鞍ト同シク作レル木鐙。世ニ猶多シ。世ニコレヲノ制ヲ
五六ナドイフハ五寸六寸ニ作ルベキ。定レル法量アレハ
ナルベシ。又倭名抄ニ楊氏漢語抄ノ。鍍具ハ腰帶。及。鍍具。銅
ヲ以テ草ニ屬スル也。トイフ説ヲ引テ。此間賀古カコトイフコ
シ注セリ。コレ今ノ鍍具頭カコカシラ又ハ鍍頭カカシラナドイヘル物也。

鐙トウソノ逆ギャク粗ソ倭名抄ニ、楊氏漢語抄ヲ引テ鐙粗トウソノ一ツニ、鐙トウソノ斬キト
イフ。美豆ミツ孚フトヨム。逆粗ギャクソ一ツニ逆斬ギャクキトイフ。知賀良加波チカカハ
トヨムヨシ注シヌ。世ニハカ皮カカカ草カクナドカク也。足利殿ノ比。
公方ハ、播摩草ノ白キカ草。金具ヲバ、黒皮ニテ。クケラレ。管
領諸大名ハ、金具ヲ紫皮ニテ。クケラルト。イフ。更見エタ
リ。鎌倉年中行事
障泥シヤウジ倭名抄ニ、唐韻ノ鞞キョウハ、障泥シヤウジ鞍ノ飾也。トイフヲ引テ、阿
布利アブリトヨム。又西京雜記サイキヤクノ。玫瑰鞍クサキ緑地錦キナヲ以テ。蔽泥セキジトス。
後ニヤ、熊羆皮クマヒヲ以テ。コレヲツクルト、イフ。更ヲ引テ蔽

本朝雜記卷之三

九

讓絲室

泥ハ障泥也トモ注シタリ。式ニ延凡熊皮障泥ハ五位以上
 コレヲ着ル事ヲユルス也ト見ユ。又金伏輪ハ泥障或ハ黃
 絲組ヲ以テコレヲ押チフ。御幸及春日詣等ノ時ニ。華族ノ人
 コレヲカケラル。行幸ノ日。地下前驅ハ。泥障ヲサバズ。攝以
 乗用ノ馬ニモサレズナドモ待ルメリ。玉又常ノ時ノゴ
 トキ。泥障ヲ用ヒズトモ。又遠所ノ儀ニ泥障サスベキコト
 ハ。表袴奴袴ナドノ馬汗ニケカレン事ヲイトフガ故也ト
 モ見エタリ。武士ノ騎馬出立トイフニモ。泥障サスベカラ
 ス。但アブミズリハ。クルシカラズト。イフ変アリ。泥障トハ

毛皮ヲイヒ。アブミズリトハ。播磨草ノマル作ヲイフヨシ
 注シタレバ。障泥トハ熊羆等ノ皮ニテ作レルニテ。麤磨ト
 イヒシハ。今ノ板泥障トイフモノノ類ニヤ。甲冑ヲ帶スル
 時モ。大ヤウハ。泥障ヲバサハサル也。義家朝臣像。又フルキ
 繪共ニ畫シ所モ。泥障サシタルハ見エズ。サレド又源平盛
 衰記ニハ。熊皮ノ障泥サシタリナド云。又見エタリ。
 今ノ三尺繩トイフ物古ノ物ニ見エズ。鞆ハ絡頭繩也ト注
 セルハ。此物也トイフ人ナド言トモ思ハレズ。太履オビヤセ
 カクシナトイフ物ノ。馬後。獸ノ上ニ履フ物ノリ。是モ古ニ

ハ物共ハアリケリ。指懸ニイフ所ハ。手覆トイフ義也。鞞覆
ノ左右ノ端ノ垂タ心所ヲイフハ。垂覆ノ義ナルベシ。サフ
バ。此物ヲモ。垂覆ノ義ヲ取ベシヤ。一説。此物ヲ昔ハヤセカ
山トイフニカクレテ。八穀ノ里ノ見エ子バ。ソノ山ノ名ニ
トリテ。多於保比トモイフナリト。サモアル変ヤ尋ヌベシ。
馬ニ駕スル事アラシニハ。鞭アル変モ其來ル事久シカラ
下シ。國史ニ見エシ所ハ。新羅王神功皇后ノ御船ノ前ニ降
リ來ツ。今ヨリ後乾坤ト長クシタカヒ。飼部トナリテ。船
ノ拖フホサズ。春秋ニ馬扱馬鞭ヲ獻リ。又海ノ遠クイタツ

御船ノ前ニ降

飼部トナリテ

馬扱馬鞭ヲ獻リ

ガハシトセテ。年ゴトニ男女ノ調貢ラムト申セシヤ。始ナ
ルハ。和鞍ニ乘ル時ハ。袴繪鞭ヲ用ヒ。平文鞍ノ時。ナリ時
繪ヲ用フルモ。難ナキ欵。舞人ハ。藤卷鞭ヲ用フ。馬ヲ馳スル
ガ故欵ナリ。イフ変アリ。抄。武士ノ用フル所ハ。スナハチ藤
卷鞭ニテアル也。木ハ熊柳トイフ物ヲ用ヒテ。長サハ二尺
七寸五分ナルヲ本トス。ユレ曲尺ノ定ニモアラズ。竹尺ノ
定ニモアラズ。我手寸ヲ用フルヨシ。イヒ傳ヘタリ。竹尺
ノ物。下學集ニ鷹狩ノ字ヲ用ヒテ。其義ヲ注シタリ。モツト
モ備。變ニテアル也。コレハ裁縫尺トイフ物ニテユリアレ。
倭名抄ニモ裁縫具ノ尺ノ下ニ。辨色立成ヲ引テ。尺ハ竹量
也。太加波可利トヨムヨシ注セリ。又工匠具ノ曲尺モ。辨色

御船ノ前ニ降

飼部トナリテ

馬扱馬鞭ヲ獻リ

立成ヲ引テ麻可利カサ庭乘ニモチ。又ハウツボニサシ。犬射ル
時符スル時ナト用フル式。各其故實アル歟。タバシ。イツ
モ取柄ハアルベシ。取柄セヌハ略儀也トゾ。古ハ鞭リ緒。取
柄ノ草ト同草ヲ用ヒタリキ。竹根鞭モ其タケ藤卷鞭ニ同
シ。節ノ數ヲ半ニキルベシ。サキヲバ。節ノ間ヨリキル。五分
三分ノヨリノキハクルシカラズ。足利殿ノ比。紫竹鞭ハ。タ
ハ人ハ用ニス。此物ハ御所ノ御物ナルガ故也。又馬ノ具ヲ
バ。無知トイヒ鷹ノ具ヲバ。不知トイフベシ。ナド世ニハイ
ヒヌレド。倭名抄ヲ見ハニ。鷹犬ノ具ニカトル物ハ見エズ。

本草綱目卷之十一

三十一

信長

古ニハ鷹ナブリトイヒシモノ。口鼻ニキ嘴ヲスラスル。鷹
トソミルナ。今モナブリフチナトイフ。物ヲ鷹ノ不知トハ
ドヨミタリ。令モナブリフチナトイフ。物ヲ鷹ノ不知トハ
イフメリ。倭名抄ニ。鞭無知トヨム。俗ニハ。無遅トイフヨシ
見エタルハ。フタツノ無ノ字。一ツハ。ウツニアヤマレルナ
ルベシ。源三位頼政藤鞭桐火桶頼政ナトイフ事ヲ。ヨメル
歌ニ。宇治川ノ瀬々ノフチフチオチタキリヒラケサイカ
ニ。ヨリマサルラシ見エタレバ。此物無遅トイフハ。俗諺
ニヤサラバ。倭名抄ノ無知ノ無ノ字。不ノ字ニヤ作ラマシ。
不知トイヒ。無知トイフ。雅俗ノニツハアレト。共ニ馬鞭ノ

口鼻ニキ嘴ヲスラスル。鷹
ナブリ。腰ニサシテハ。鞭カ

フチナ
フチナ

本草綱目卷之十一

三十一

信長

事ニテハアル也。カレコレヲ通ジ考ルニ。古ノ鷹ノ具ニ。不
 知トイフ物ハナカリレ也。
 令ニ。私家ニハ具装アルコトヲ得サレト。イフ事ノアルヲ。
 義解ニハ。具装ハ。馬甲也ト注レヌ。サレバ。此物ムカシヨリ
 有ケレト。兵士ノ私ニ蓄フル者ハ。カナハサリケリ。源平盛
 衰記ニ。生田森ノ戦ノ時源氏ノ方ニ。馬曹着セタリレ事見
 エタリ。其後ノ物ニ。鎌ノ馬鎧（太平記ニ）金鎌ノ馬鎧（明德記ニ）ナドイ
 フ物見エケリ。古ノ制モカシヤアリケム。鎌倉年中行変ニ
 モ。タゞ馬鎧トノミアリテ。其制サダカナラス。今ノ制大ヤ

ウハ草ヲモテ作ル。又馬面トテ。馬頭ヲ蔽フベキ物アリ。此
 物モ古ヨリアリレニヤ。其名ハ聞エズ。

昔馬寮ノ御厩ノ事ハ。シラス。武家ノ厩ノ制。古ハ定レル法
 ヲアリケル。其中一ノ厩。ニノ厩。ナドイフアリ。サレ入ル。口
 ノワキヲバ。一ノ厩トイヒ。奥ノトマリヲ。ニノ厩トイフ。厩
 ハ。ハシトオクトヲ上等トス。凡厩ニセツノ懸物トイフア
 リ。馬扱（カシ）馬刷（カシ）竹刀（カシ）打刀（カシ）爪打（カシ）槌（カシ）勒通（カシ）繩（カシ）藥筒（カシ）ヲイフ也。コレラ
 ノ物モ各定レル。法量アル也。此外。剪刀（カシ）。焼印（カシ）。粥袋（カシ）。槽（カシ）。劉雞（カシ）等
 ノ類猶多シ。粥袋。亦ヒグツト云。萬葉ノ歌ニクハ。ツトヨメ
 リ。抄ニクハ。ツトハ。細キ繩ヲ。持物（カシ）イル。物ニ

本朝軍器考卷之三十一
シテ井ナカノモノノ鼻皮トイフ物。倭名抄ニハ見エズ。倭ノ
持ツ也ト云リ。鼻皮トイフ物ハ見エズ。倭ノ
字ヲ用フヘシトイフ人アリ。倭名抄ニハ倭ノ字ヲ久佐
利トヨミテ。唐韻ノ草轡也トイフ説ト。毛詩注ニ倭ハ金ヲ
以テ。小環トナシ。徃々ニ纏チシ搯スルモノ也ト。イフ説ヲ引タ
リ。草轡トイヒ。金ヲ以テ小環トス。ナドイフ事。今イフ鼻皮
ノ制ニ似タル所モアレバ。カクイヘルナルベシ。サレド轡
トイフハ。馬ヲ御スル草ニテ。今ノ手綱ヤウノ物ナリ。倭ノ
字。毛詩ニオヨソニタヒ出ツ。毛氏鄭氏ノ注。一定セズ。異朝
ノ人モタゞ郭璞ガイハエル。轡ノ把ルトコロノ外。餘アリテ

垂ヒタル先サキヲ草カクトイフ。條皮ニテツクレル物ナレバ。コレヲ
倭草トイフヨシ。侍ルヲコソ。ヨシトハスレ。ミダク絲ヲ以
テスルヲ轡トイヒ。草ヲ以テスルヲ倭トイフトモ見エタ
リ。サラバ。倭トイフ物ハ草ニテ作レル。手綱ノ手ニトル所
ノ餘ニテ。鼻皮トイフ物ニハアラス。説文ノ勒ノ字ノ注
ニ。馬頭ニ銜ヲ絡フ也。又銜アルヲ勒トイヒ。ナキヲ羈トイ
フト。見エタレバ。銜ウツナクテ。馬頭ヲ絡フベキ物ハ。今ノ鼻皮
ノ類ニゾアル。サレド。オヨソ我朝ノ物トモ。アナガチニ異
朝ノ文字。借リ用ヒントスレバ。似テ似ヌ支ノ多アレバシ

カシタバ。我朝ニテ世ニ用ヒ来レルマハニ。シルシナシガ。

煩ナキニハ又張綱トイフ物。繼ノ字ヲ用フベシヤ。廣韻ニ

ハ。繫也。増韻ニハ又馬韉又長繩也ト注シタル。左傳ニ羈絆

トイヒレハ。鼻皮張綱ノ類ニゾアルベキ。綫ハ繫馬索也ト

下注セシ物モアル也。古今類書纂要足懸トイフ物ハ。倭名抄ニ絆

トカキテ。保太之トヨメル物ニヤ。羈馬ハ馬絆足也ト見エ

タシハ。此字ヲモ用フベシヤ。馬ノ字。又繫ニモ作ル。馬衣ハ

倭名ニ左傳注ニ馬褙ハ馬被也トイフヲ引テ。無麻岐沼ト

ヨム。褙トイフ時ハ。令麻ニテ織リシ物ソレ也。帛ヲ以テ作

レル物ハ。近キ世ノ制ナルヘシ。

本朝軍器考卷十一大尾

